

市指定

所在地：曾地中

どうなかこふんにごう

洞中古墳二号

古墳時代後期（六世紀）に築造された、横穴式石室を内部主体とする前方後円墳である。墳丘は全長30m、後円部径17m、前方部幅15mを測る。西方向に開口する石室は片袖式で、全長10.7m、玄室長5m、幅1.9mを測る。

横穴式石室を持ちかつ前方後円形を呈する古墳は珍しく、一号墳とともに古墳築造の形状的变化を追えることで貴重である。

